

伝統の
継承

六所神社例大祭

2日間に渡り例大祭を取り材しました。
この祭りの様子は市ホームページでご覧いただけます。（市ホームページトップページ↓「六所神社」で検索）

各町内の山車・幌獅子



11月5日(土)
渡御順路

六所神社



六所神社と祭礼



日吉町

六所神社

中町
上町

上町

旭町西

上町

榮町



六所神社は、明治6年（一八七三）に下郷地区の五社を八幡神社（上町）に合祀し、八幡神社を六所神社と改称したことに始まります。五社とは古山の鹿島神社、大網の雷神社、新渡戸の稻荷神社、茅生の星宮（現・妙見神社）、室野の熊野神社です。八幡神社は、康平年間（一〇五八～一〇六四）源義家が奥州征伐に向かう途中、岩間の地を通った際、戦勝を祈願



上町

各町内の山車・幌獅子



伝統の継承 六所神社例大祭



旭町西
(子ども)



※旭町東の幌獅子は、今年は不参加。



南春日町

旭町西

旭町東

11月6日(日)
渡御順路

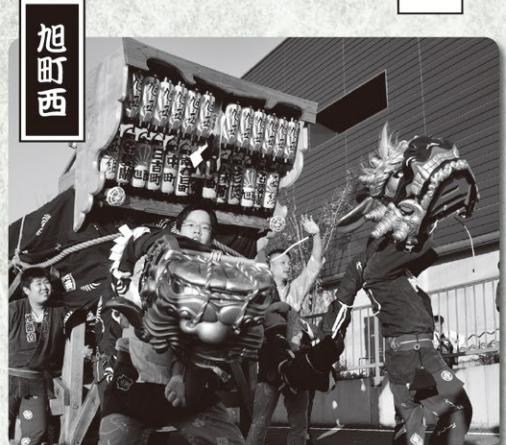
南春日町

旭町西

旭町東

日吉町

旭町東

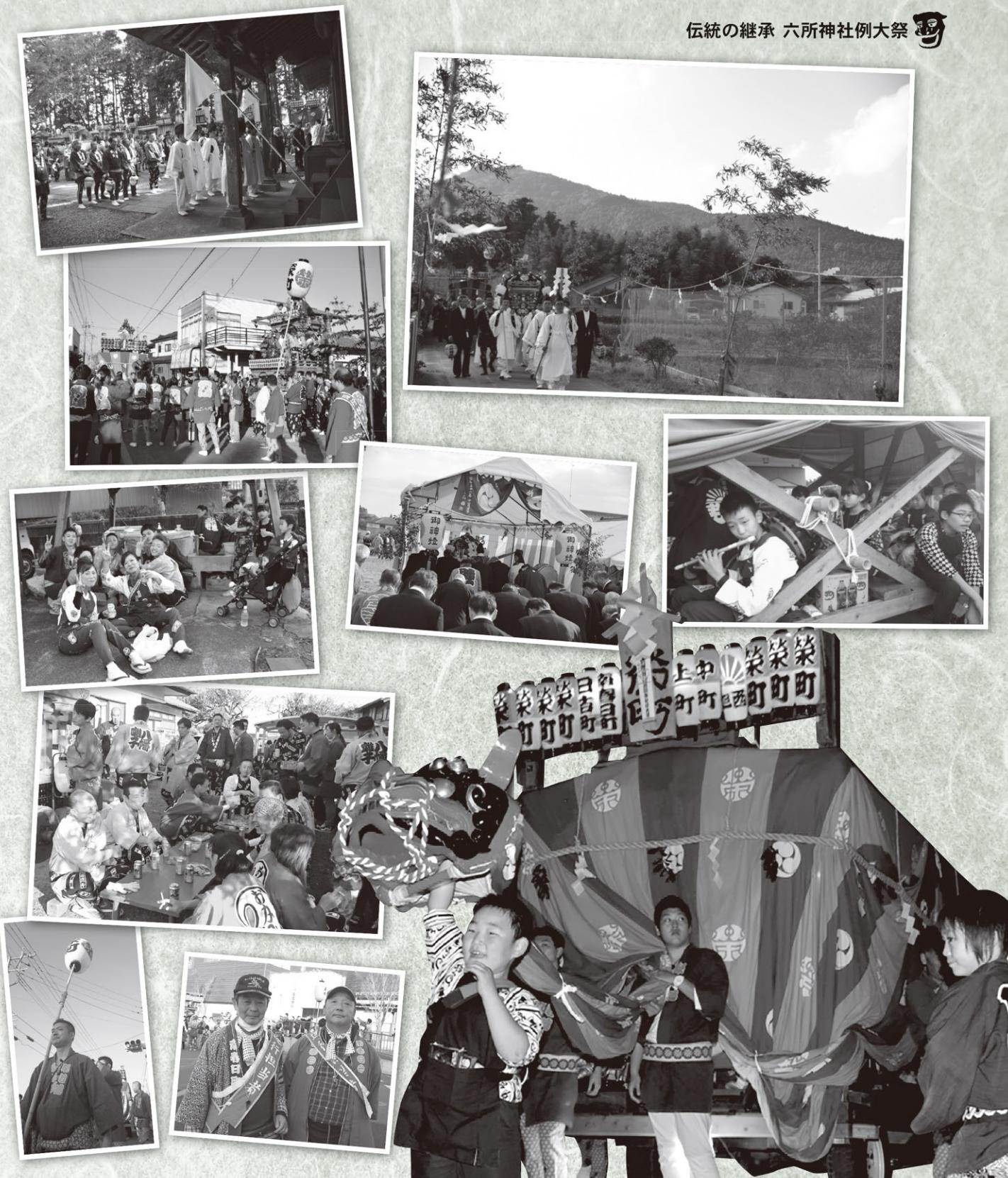


して祠を建てたのが始まりといわれています。岩間地区には、源義家にまつわる伝説や地名が残っています。現在のような幌獅子や山車が参加する形式の祭礼は、明治6年の合祀を記念して始められたといわれており、140年を超える歴史を重ねています。祭礼ではいろいろな慣例やしきたりがあり、それを守ることで、町内間のもめごとも起こらなくなり、地域との結びつきがより密なものとなっています。

六所神社の例大祭は、毎年11月の第1土・日に行催され、氏子町内から山車や幌獅子が10台程度参加し、街中を練り歩く岩間地区最大のお祭りです。獅子頭は約20キログラム前後あり、それを振りかざすことで、力自慢をして町内の勢いを示します。

祭礼のときに奏でられる「岩間囃子」は、笠間市指定無形民俗文化財に指定されています。





編集後記

親から子へ、子から孫へ代々引き継がれる慣例やしきたりがなくなりつづある今日この頃ですが、この六所神社例大祭は、みんなが参加し、1年かけて用意しているものだそうです。お囃子での太鼓の練習は、1か月前から毎日行われている町内もあり、幌獅子のしめ縄も自分たちの手で作っていることです。

また、祭りの見どころの一つに、幌獅子の獅子頭を目一杯の力で縦に振るシーンがあります。気合いを入れて、奥歯をかみしめながら力自慢をする姿は美しくもあり、自分のまちへの郷土愛を示している姿勢に心を打たれました。

これからも、市内各所で行われている伝統あるお祭りなどを、後世に引き継いでいくことが大切だと感じました。